

みやづ経済ダイジェスト (NO.39)

令和2年3月
宮津商工会議所

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計を行っております。

【調査期間】平成31年3月～令和元年6月

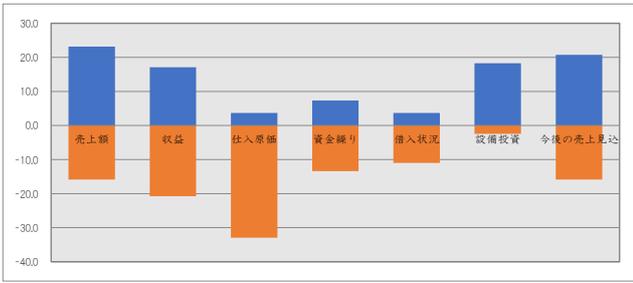
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計100社を対象にアンケートを実施。(回答企業数41社)

【D I値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少等=▲0.5、⑤かなり減少等=▲1とし、(①+②) / 全体数×100 - (④+⑤) / 全体数×100でD Iを算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

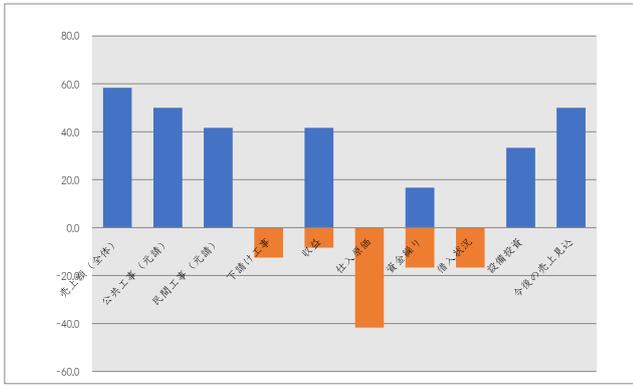
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		D I値
売上額	増加	3	13	12	13	0	減少	7.3
収益	増加	2	10	13	15	1	減少	▲3.7
仕入原価	低下	0	3	14	21	3	上昇	▲29.3
資金繰り	好転	2	2	26	11	0	悪化	▲6.1
借入状況	減少	0	3	31	5	2	増加	▲7.3
設備投資	低下	2	11	27	0	1	上昇	15.9
今後の売上見込	増加	2	13	14	11	1	減少	4.9



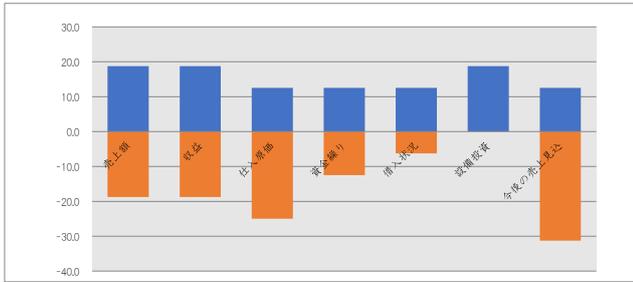
全業種のD I値は、売上額が+7.3ポイントと増加しているものの、仕入原価については▲29.3ポイントと前年同期と同様に悪化回答が多く、収益は▲3.7ポイントと悪化しており、仕入価格高騰による採算性の悪化が伺える。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D I値
売上額(全体)	増加	2	3	1	0	0	減少	58.3
公共工事(元請)	増加	1	2	1	0	0	減少	50.0
民間工事(元請)	増加	2	1	3	0	0	減少	41.7
下請工事	増加	0	0	3	1	0	減少	▲12.5
収益	増加	1	3	1	1	0	減少	33.3
仕入原価	低下	0	0	2	3	1	上昇	▲41.7
資金繰り	好転	1	0	3	2	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	0	4	2	0	増加	▲16.7
設備投資	低下	0	4	2	0	0	上昇	33.3
今後の売上見込	増加	2	2	2	0	0	減少	50.0



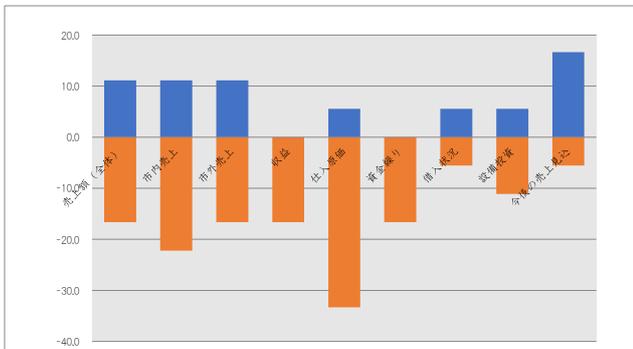
公共工事、民間工事ともにD I値が大きく増加した。経営上の問題点として「人手不足」が最も多く挙げられ、重点経営施策としても「人材の確保」が最も多く挙げられるなど、深刻な人材不足が伺える。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D I値
売上額	増加	0	3	2	3	0	減少	0.0
収益	増加	0	3	2	3	0	減少	0.0
仕入原価	低下	0	2	2	4	0	上昇	▲12.5
資金繰り	好転	0	2	4	2	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	2	5	1	0	増加	6.3
設備投資	低下	0	3	5	0	0	上昇	18.8
今後の売上見込	増加	0	2	1	5	0	減少	▲18.8



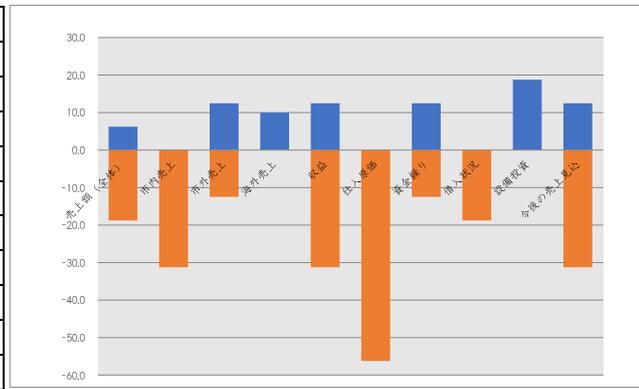
売上高、収益ともにD I値は±0.0ポイントと、昨年との変化は見られなかったものの、今後の売上見込については▲18.8ポイントと、減少を見込む回答が多い結果となった。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D I値
売上額(全体)	増加	0	2	4	3	0	減少	▲5.6
市内売上	増加	0	2	3	4	0	減少	▲11.1
市外売上	増加	0	2	4	3	0	減少	▲5.6
収益	増加	0	0	6	3	0	減少	▲16.7
仕入原価	低下	0	1	2	6	0	上昇	▲27.8
資金繰り	好転	0	0	6	3	0	悪化	▲16.7
借入状況	減少	0	1	7	1	0	増加	0.0
設備投資	低下	0	1	7	0	1	上昇	▲5.6
今後の売上見込	増加	0	3	5	1	0	減少	11.1



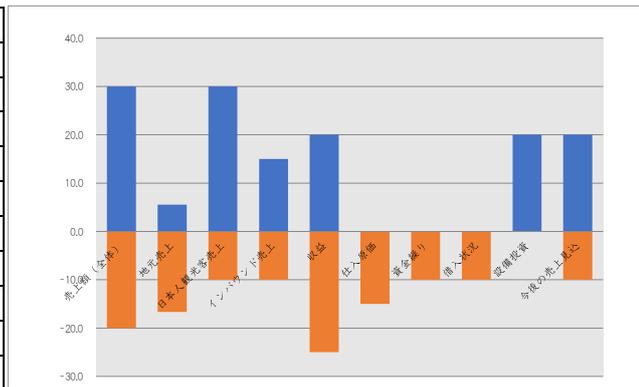
市内売上が▲11.1ポイント、市外売上が▲5.6ポイントと減少。また、収益、資金繰りが共に▲16.7ポイントとなるなど悪化の項目が多い中、今後の売上見込については+11.1ポイントと増加を見込む企業が多い結果となった。

製造業			かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額（全体）	増加	0	1	4	3	0	減少	▲12.5	
市内売上	増加	0	0	3	5	0	減少	▲31.3	
市外売上	増加	0	2	4	2	0	減少	0.0	
海外売上	増加	0	1	4	0	0	減少	10.0	
収益	増加	0	2	2	3	1	減少	▲18.8	
仕入原価	低下	0	0	1	5	2	上昇	▲56.3	
資金繰り	好転	1	0	5	2	0	悪化	0.0	
借入状況	減少	0	0	6	1	1	増加	▲18.8	
設備投資	低下	1	1	6	0	0	上昇	18.8	
今後の売上見込	増加	0	2	2	3	1	減少	▲18.8	



全体的に不変の回答が多く、前年同期に引き続き厳しい状況が伺える。市内売上が▲31.3ポイント、仕入原価が▲56.3ポイントと大きく悪化し収益に影響しているが、市外売上については前年同期▲12.5ポイントから0.0ポイントへと回復傾向の結果となった。

観光サービス業			かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額（全体）	増加	1	4	1	4	0	減少	10.0	
地元売上	増加	0	1	5	3	0	減少	▲11.1	
日本人観光客売上	増加	1	4	3	2	0	減少	20.0	
インバウンド売上	増加	0	3	5	2	0	減少	5.0	
収益	増加	1	2	2	5	0	減少	▲5.0	
仕入原価	低下	0	0	7	3	0	上昇	▲15.0	
資金繰り	好転	0	0	8	2	0	悪化	▲10.0	
借入状況	減少	0	0	9	0	1	増加	▲10.0	
設備投資	低下	1	2	7	0	0	上昇	20.0	
今後の売上見込	増加	0	4	4	2	0	減少	10.0	



日本人観光客売上が+20.0ポイント、インバウンド売上については+5.0ポイントと引き続き増加している。全体的な売上も+10.0ポイントの増加となったが仕入原価の上昇が収益に影響する結果となった。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	0	5	2	4	3	14
②人手不足	5	3	3	3	4	18
③採算の悪化	1	2	2	2	1	8
④仕入価格の上昇	0	2	2	3	5	12
⑤後継者問題	0	0	2	3	1	6
⑥資金繰りの悪化	1	1	0	1	0	3
⑦その他	0	0	2	0	0	2

※その他：販路開拓（卸売業）、廃業について（卸売業）

問3 当面の重点経営施策についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	0	4	4	2	7	17
②人材の確保	6	3	2	5	5	21
③販路拡大	0	2	4	5	3	14
④設備投資	0	1	1	2	3	7
⑤事業計画策定	0	1	0	1	0	2
⑥業務の効率化	1	2	3	2	3	11
⑦その他	0	0	0	1	0	1

※その他：高齢による業態の変化（製造業）

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。